水とくらしのグッド・パートナー

株式会社小島製作所

トコトン小島流

COMPANY INFORMATION

企業理念

Philosophy

当社に関わる
全ての人を幸せにする

Kojimaは、社員とその家族・仕入先とその家族・お客様・地域や株主の皆様など
当社に関わる全ての人への感謝を胸に、
その幸せを目指していきます。

経営理念・方針

Vision

「 最適な水回り環境で快適な暮らしを支えます 」

快適な生活を送るために不可欠な給排水設備。
特に排水通気設備は、高層化の進む現代社会に欠かすことのできない「生活インフラ」の一つ。
排水に問題が発生しただけで、暮らしに必要な水が使用できなくなるからです。
Kojimaは、信頼性の高い排水性能の提供はもとより、
排水管を通して蔓延するウィルスの感染を防ぐ快適・安心な排水通気設備など、
常に住環境を見つめた提案をしてまいります。

Mission

「 確かな技術で排水通気性能を担保します 」

排水立て管には各階からの排水が接続され、様々な水回りの環境を支えています。
だからこそ、普段は目にすることのない排水設備には高い信頼性が求められます。
Kojimaは、「確かな技術」で排水通気性能の向上・進化に力を尽くします。

Value

トコトン
小島流

Kojimaは、少数精鋭の技術集団です。
トコトン実験を重ね、トコトン排水技術を研究し、水の流れと信頼をカタチにしていきます。

小島製作所について

只今を生きて、その先へ ——

令和とともに創業101年目がスタートしました。大正８年（1919年）の創業以来、建物の給排水設備に供する製品を通して、「世のため、人のために」を経営理念に掲げ、全力で貫き通してまいりました。市場ニーズの変化とともに提供してきた製品も、変化してきましたが、いずれの製品も快適な住生活には欠かせない排水器材ばかりであります。

振り返ってみますと100年の歩みも一瞬、一瞬の積み重ねでありました。激しく変化する世の中の潮目を感じながら、「今」を真剣に生きることこそが次の100年へのパスポートとなります。過ぎ去った過去は戻りませんし、先の不安を考える価値はありません。一人一人に与えられた課題を、「今」懸命に取り組むことが大切なことだと思います。

社員とその家族、仕入先とその家族、顧客、地域住民、そして株式、当社に関わる全ての人を幸せにすることを目的に、次の100年に向けて歩み始めます。

株式会社 小島製作所

代表取締役社長

小島久典

Kojima — 02

小島製作所について

本 社

Kojima 物流センター

MCC首都圏コアセンター

会社概要

創 業	大正 8 年 4 月 1 日	
設 立	昭和 27 年 12 月 27 日	
資本金	4,500 万円	
従 業 員 数	55 名（2024 年 4 月 1 日現在）	
代 表 取 締 役 社 長	小島 久典	
代 表 取 締 役 会 長	小島 誠造	
主 要 株 主	名古屋中小企業投資育成（株）	
本 社	〒454-0027 名古屋市中川区広川町 5-1 TEL 052-361-6551　FAX 052-361-6556	
MCC首都圏 コアセンター	〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町 7-17　朝日ビル 4F TEL 03-5652-6356　FAX 03-5652-6355	
Kojima 物流センター	〒511-0923　三重県桑名市桑部 1056-5 TEL 0594-27-6771　FAX 0594-27-6772	
事 業 内 容	建築設備用排水器材・システムジョイントの製造販売	
売上高	17 億円（2023 年実績）	
取引銀行	名古屋銀行　柳橋支店	
	商工組合中央金庫　名古屋支店	
	日本政策金融公庫	
	三菱 UFJ 銀行　新名古屋駅前支店	
加盟団体	社団法人空気調和・衛生工学会	マンションリフォーム技術協会
	社団法人日本建築学会	マンション設備リニューアル&管理技術研究会
	単管式排水システム協会	愛知県管工機材商業協同組合他 各都道府県単位の組合
	日本鋳鉄ふた・排水器具工業会	愛知県管工事業協同組合他 各都道府県単位の組合
	給排水設備研究会	

小島製作所について

組織図 (73期)

小島製作所について

沿革

大正 8年　創業
名古屋市中区で水道衛生器具の製造開始
昭和 21年　名古屋市中川区に工場を復興、製造を再開
昭和 27年　資本金 80 万円にて（株）小島製作所に改組
昭和 32年　建築衛生設備排水トラップ類・マンホールふた類の
研究生産開始
昭和 35年　扶桑工場（鋳造工場）建設
昭和 41年　建設大臣官房長官営繕部設備課（建設省本省）の
製品指定を受ける
昭和 44年　総合社屋完成　創業 50 周年
昭和 47年　通産省工業技術院委託事業に関わる搬送ユニット試作
キャッチジョイント（KJ7）商品化
昭和 48年　排水通気調和管継手（KJ8）商品化
昭和 52年　コア排水システム性能実験タワー完成
昭和 56年　掃兼ドレン（SO シリーズ）商品化
排水実験タワー改修
昭和 57年　名古屋中小企業投資育成（株）の投資を受け、
資本金 4500 万円に増資
昭和 59年　横型マシニングセンタ導入
昭和 62年　アムスラー式圧縮試験機導入
CAD導入
平成　2年　超高層用「HP ジョイント」
排水実験タワー改修（9 階建て）
平成　3年　住・都公団 100m 実験タワーで、
HP ジョイントの性能試験実施
平成　4年　CI 導入「New KJ8」商品化
平成　7年　情報管理システムの社内 LAN 構築
平成　8年　特許管理システムの社内 LAN 構築
平成　9年　中部発明表彰で名古屋商工会議所会頭賞受賞
平成 10年　ISO9001 認証取得
コンパクト&パワフル「CP ジョイント」商品化
平成 11年　愛知発明表彰で愛知発明賞を 4 年連続受賞
遮音性に応える「KST ジョイント」商品化
平成 12年　中部地方発明表彰　奨励賞受賞
ホームページ開設
平成 13年　「KST ジョイント 2 方向型」商品化
住都公団 3 社と「排水ヘッダー」を共同開発
維持管理対策等級 3 に応える排水管継手
「そうじし～な」商品化
平成 14年　鉄建建設㈱と満空試験治具の共同開発に着手
MCC 首都圏コアセンターを設置
ISO9001:2000　改定登録
平成 15年　リフォーム用単管式継手 DST シリーズ
「とりかえ～な」商品化
三井住友建設㈱と床スラブ貫通部の振動に関する
共同開発開始
平成 16年　排水管更新工事の施工性に関する研究（スラブ上面接合）に着手
浴室排水トラップの更新工法の研究に着手
平成 17年　スラブ上面接合方法が特許査定される
超高層住宅用 HQ ジョイント商品化
中部地方発明表彰奨励賞受賞
平成 18年　FRP 防水層用排水トラップ商品化
生産効率アップのため㈱長谷川鋳工所との協業化実現
集合住宅洗浄管システム提案
中部地方発明表彰奨励賞受賞
平成 19年　Kojima 物流センター竣工・稼動
HQ ジョイント組立検査ライン導入
中部地方発明表彰 奨励賞受賞
平成 20年　代表取締役に小島誠造就任
排水金物のステンレス化に着手
平成 21年　愛知発明表彰 奨励賞受賞
排水立て管更新工法（KJ・US 工法）の開発
(独)UR 都市機構「ヌーベル赤羽台」で
KJ・US 工法が採用
ISO9001:2008　改定登録
平成 22年　低振動低騒音の排水管改修工法（ジャッキアップ工法）の開発
直販サイト /haisui.com 開設
CCI ㈱とアライアンスを組み、モエナイン排水システムが
国土交通大臣認定、消防評定を取得
中部発明表彰 奨励賞受賞
平成 23年　Kojima 物流センターにモエナイン「シュリンクマシーン」を導入
東京スカイツリーに HQ ループ単管式が採用
2階建て賃貸住宅用多口管継手(DAT継手)上市
平成 24年　中部地方発明表彰 発明奨励賞受賞
S 型モエナイン商品化
平成 25年　スラブを“はつらず”配管を引き抜く「PJ350」上市
愛知発明表彰奨励賞受賞 (5 年連続)
中部地方発明表彰 発明奨励賞受賞 (5 年連続)
平成 26年　引き抜いた孔にスッポリ入る排水継手
「-1 シリーズ」上市
「PJ350」＋「-1 シリーズ」=「JUST 工法」の提案
愛知発明表彰 奨励賞受賞 (6 年連続)
平成 27年　最下階合流用通気継手「CP-SS」「HQ-SS」上市
中部地方発明表彰 奨励賞受賞
平成 28年　前澤化成工業㈱とアライアンスを組み、
樹脂製排水用特殊継手「ビニコア」を上市
「JUST 工法」の発明で愛知発明表彰並びに
中部地方発明表彰 奨励賞受賞
平成 29年　管引き抜き機 (特許第 6045821 号) で
中部地方発明表彰 発明奨励賞受賞
ISO9001:2015　改定登録
平成 30年　ビニコア (特許第 6147690 号) で愛知発明表彰
発明奨励賞受賞
モエナイン組立の生産性向上のため、
Kojima 物流センターにシュリンクトンネルを設備
ビニコア (特許第 6147690 号) で
中部地方発明表彰 名古屋市長賞受賞
平成 31年　創業 100 周年
(令和元年)　最下階合流用脚部継手（特許第 6121107 号）で
中部地方発明表彰 発明奨励賞受賞
令和　2 年　水回り製品の開発に挑んだ KOJIMA100 年の歴史を発行
排水用特殊継手の防音耐火カバー（特許第 6576713 号）で愛
知発明表彰 愛知発明賞受賞
中部地方発明表彰 発明奨励賞受賞
電子式満空試験機スマホアプリ型を開発
令和　3年　樹脂製排水用特殊継手（超高層タイプおよび二段口用）を上市
令和　4年　最下階合流用排水特殊継手（特許第 6721305 号）で
中部地方発明表彰　発明奨励賞受賞
令和　5年　卵殻掃除口とその敷設方法（特許第 5635317 号）で
中部地方発明表彰　発明奨励賞受賞
令和　6年　防音・耐火性能を備えた樹脂製排水特殊継手 (特許.第6576711号) で
愛知発明表彰 発明奨励賞受賞

100年の歴史から生まれた排水設備機器

私たち小島製作所は、水回り製品のメーカーとして100年に渡り、建築設備用排水器材の製造販売を手がけながら、快適な住環境作りの一翼を担ってきました。
創業当初の水栓鋳造に始まり、排水器具・マンホールの鋳造、鋳鉄製排水用特殊継手（コアジョイント）の開発、そして近年の樹脂製継手（ビニコア）への展開と、時代とともに事業内容を変化させながら、広く社会の水回り環境をサポートし続けています。

排水用特殊継手

CORE

排水設備機器の紹介

小島製作所 排水設備機器の変遷

1919 上給水栓

排水トラップ
排水金具

1957

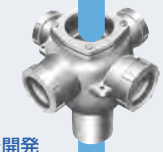
マンホール

KJ7
扁球体多口管継手

1972

高度経済成長時代
集合住宅ラッシュ

これまでの継手を一新
画期的な排水継手 KJ8 を開発



KJ8 Series
通気管を不要にし、
管スペースの
大幅削減を達成

1990

HPSeries
超高層60階ビルに
対応できる
高能力を保有

高層マンション
の登場

パワフル流量で
都市生活を支える

1998

CPSeries
小型・省スペースで
高能力

環境に優しい
節水トイレ登場

住設設備の進化に合わせ
新継手を開発

2010 **モエナイン**
SSeries
耐火・防音・
防振部材を
工場で一体化した
消防評定品。

阪神・淡路大震災等
災害を経て
安心・安全な
住宅ニーズが高まる

2019 **ビニコア**
Series
コアジョイントの
DNAを継承した
硬質塩ビ製継手。

サスティナビリティの
観点から新素材開発が
加速

効率性・環境性と
長寿命を兼ね備えた
樹脂製の継手を開発

衛生環境を支え続ける
排水器具・マンホール

排水トラップや床上掃除口、マンホールなどの排水器具は、日常生活では意識されませんが詰まりや異臭を抑え、排水システムの衛生環境を守る大切な器材です。
1957年から研究生産を開始、1966年には建設大臣官房官庁営繕部設備課（現:国土交通省）の全国指定を受け、今日まで一貫して安心してご使用いただける排水器材を提供しています。

排水設備にパラダイムシフトを起こした
排水用特殊継手を商品化

1973年に商品化した「排水通気調和管継手−CORE排水システム」は、それまで通気管を併設した2管式が一般的な中で、1本のパイプで排水と通気を担う単管式にしたことで配管スペースの大幅な削減を実現した、当時としては画期的な製品。ジョイント製品として初めて特許を取得するとともに、単管式排水システムは40年経った今もなお、業界のスタンダードとして採用され続けています。

IoT で漏水をサスティナブルに防ぐ

漏れ検査の満水試験では、使い捨ての水が必要です。
小島製作所は水資源を無駄にしないサスティナビリティな空気圧による試験を推奨しており、満空試験機の開発を進めています。
スマートフォンの満空アプリでデータ収集、ラベル印刷、現場撮影、管理サーバーよりデータ確認、報告書作成が可能となります。

納入実績の紹介

634mの
東京スカイツリーに採用されています

2011年に開業した世界一の自立式電波塔である東京スカイツリーには、小島製作所の「HPループ単管式」が採用、納入されています。超高層建物の排水設備では定評のある小島製作所の品質・性能・技術力が、認められました。

納入実績の紹介

高層化・ハイテク化を推進し、安全性・快適性を追求する建築設備環境、
その中で水回り設備も常に進化を続けています。
小島製作所は、柔軟な発想による製品開発力・実験データに裏打ちされた技術力で
排水業界に新たな提案を続けてまいります。

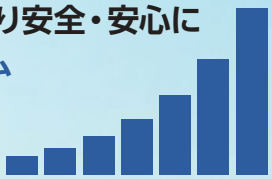
パワフル・コンパクト・長寿命を追求
単管式排水システムCORE

納入実績 **2,000,000**戸以上
（2024年現在）

「単管式排水システム CORE」は水回り環境の変化に合わせて、排水流量のパワフル化や本体のコンパクト化、長寿命化などを図ってまいりました。
発売から 50年が経った今も、高い排水性能と豊富なラインナップで皆様の快適な水のある暮らしを支えています。

住宅の延焼を減らし、より安全・安心に
モエナイン排水システム

10年 連続出荷増



延焼防止材により、接続部で配管内を完全に閉塞し、上階への炎や煙、熱の侵入を防ぐ「モエナイン排水システム」。
防火区画から1m以内の横枝管に、塩ビ管の配管が可能になるなどの施工性能が評判を呼び、発売以来右肩上がりの出荷実績を誇っています。

排水性能の向上とコンパクト化を両立
HP/HQジョイント

首都圏における
超高層マンションのシェア率 **50**%

1990年台からのマンション超高層化に対応するべく、排水流量のパワフル化を実現した「HPジョイント」。
その進化系でさらなるコンパクト化を極めた「HQジョイント」。 超高層の建物に焦点を当てたこれらのジョイントは、建築業界や排水業界から常に高い評価を得ています。

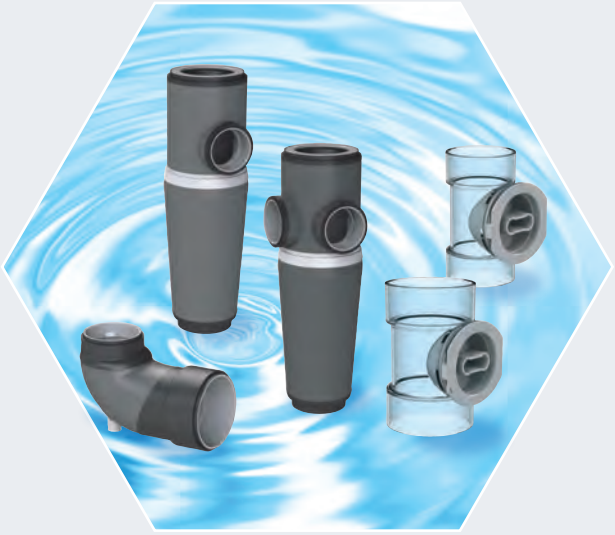
共同研究・開発を積極的に推進

小島製作所では、これまでに業種・業態の垣根を越えて多くの企業とコラボレーションし、様々な問題・課題を解決してきました。
“少数精鋭の技術集団”ならではの柔軟な開発体制が、パートナー企業との間で新たな相乗効果を生み、常識を覆すユニークな商品を社会に送り続けています。

発明表彰　15年連続受賞（2009→2024 現在）

特許取得数合計　90件

研究・開発の実績

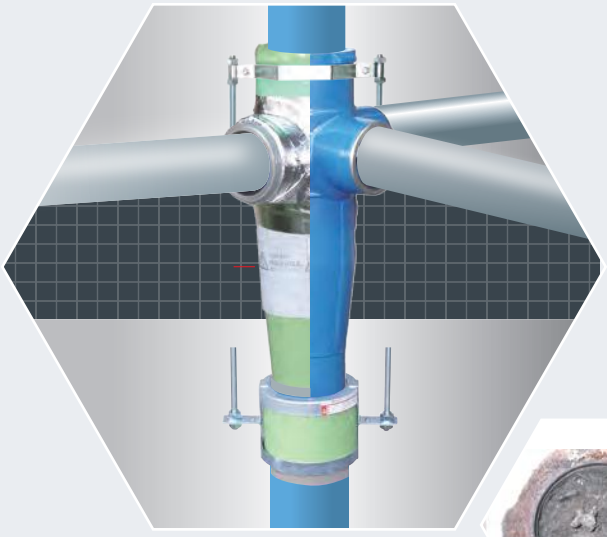


新素材・技術・知識の融合で新しいフィールドを拓く

樹脂製単管式排水システム ビニコア

下水道関係の樹脂製品トップメーカーである前澤化成工業(株)との業務提携により、樹脂製単管式排水システム ビニコアを開発。小島製作所の排水システムのノウハウと前澤化成工業の樹脂成型のノウハウの融合により、排水性能はもとより遮音性、施工性、耐衝撃性、耐腐食性等に優れた商品として排水業界でシェアを拡大しています。樹脂への本格参入という、小島にとっては次の100年に向けてのターニングポイントとなった商品でもあります。

【発明奨励賞受賞／国土交通大臣認定／消防安全センター評定取得】



安心・安全性能を高めて暮らしを守りたい

火災時に延焼防止材が管路を閉塞。
上階への熱や炎・煙の侵入を防ぎます。

モエナイン排水システム

防音排水管メーカーのシーシーアイ（株）とのコラボレーションにより生まれた、延焼防止材付き中・高層用通気継手です。火災が発生すると熱膨張材が膨張し、接続部で配管内を完全に閉塞することで上階への炎、煙、熱の侵入を防ぎます。これにより防火区画から1メートル以内の横枝管に、塩ビ管配管が可能となりました。

【発明奨励賞受賞／国土交通大臣認定／消防安全センター評定取得】

課題はチャンス！一緒に挑戦を始める

ステンレス製排水金具 P-trap COM（ピートラコム）

2005年、排水金具・マンホールなどの鋳物需要が減っていく中で、生産効率アップを目的に(株)長谷川鋳工所との協業化を実現。2008年にはP-trap　COMブランドにてステンレス製排水金物の製造に着手し、キズが付きにくい、腐食しにくい等のステンレス特性を活かして、排水金具の新しいスタンダードを築きあげています。

現場の声から必要性を察知、現在も進化中

満空キット

鉄建建設(株)との共同研究により生まれたのが満空キットです。施工現場で実際に起こったトイレの排水管からの漏水をきっかけに、従来までの満水試験より低コスト・時短で行える試験方法として、空気圧で排水系統の漏れ検査行う満空試験治具を開発・提案。共同で特許出願するとともに商品化を実現しました。

スマホでデータ管理できる満空アプリも開発中

現在は電子式満空試験機として漏洩試験を自動化・データ化。さらにスマホによるデータ管理アプリの開発も行うなど、漏洩試験工程のさらなる簡便化を進めています。

排水継手を改修時の困りものにはしない！更新ストレスの解消を実現

JUST 工法 スリム継手

排水管更新工事中に起こる騒音、振動、粉塵といった問題を解決するために、共同で開発したジャッキアップスリム短管工法。　床スラブをハツらずに新しい排水管に交換できる、“工期中のストレス”を大幅に抑えた画期的な工法として、多くの集合住宅の改修現場で採用されています。

【発明奨励賞受賞】

排水実験タワー

9階建ての実験タワーは業界をリードする開発・技術力の要。

業界に先駆けて建設した排水実験タワー。
排水流量はもちろん、
管内圧力や旋回流の動き、排水音、振動など
あらゆるデータを数値化し、
製品の開発・改良やトラブル要因の
解析・解決につなげています。

排水実験タワー

実際の使用環境を再現、排水音、振動のリアルな計測が可能

本社の建物に併設した実験タワーで、コンクリートの床を貫通した排水用特殊継手による、他社には真似のできないリアルな排水音実験※をおこなっています。また、名城大学建築学科との共同研究で、管内圧力と排水音を同期入力した実験や音の見える化など、新しい研究にも着手しています。

※排水音測定室は2018年に三井住友建設㈱技術研究所の監修によって施工されました。

排水管の中まで排水の流れを見える化

実験タワーの排水立て管、横枝管および横主管を透明管にし、管内の流れや通気の様子を見える化した排水実験をおこなっています。
近年は、最下階の排水を立て管合流する現場が増加しており、最下階排水横枝管芯と横主管芯との垂直距離や脚部継手から曲がりまでの距離を変えた検証実験をおこなっています。

排水実験タワー概要

タワーの高さ：地上 27m 9 階建て
階高：2750mm
立て管本数：3 本
定流量負荷装置：高置水槽／加圧方式
横枝管からの最大負荷流量：定流量 0.5～3.0
設置器具：大便器･代用洗濯機（リモート排水）
圧力計：無線微差圧計
風速計：熱線風速計

様々なテーマで共同研究を実施、論文も数多く発表

大学やゼネコンとの共同研究も盛んにおこなっています。共同研究の成果は、空気調和・衛生工学会や日本建築学会に論文を発表したり、特許を出願しています。

来客実験や見学ツアーも随時対応

お客様のご依頼を受け、様々な配管や実験条件で実験を実施しております。

Kojima物流センター

品質検査・配送拠点

広さ8,000㎡、Kojima物流センター。

主力製品であるジョイントからモエナイン、ビニコア等の組立から検査、配送までを行う
Kojima物流センター。
シュリンクマシンや漏れ検査装置などの最新設備を導入し、
スピードとクオリティを追求しています。

Kojima物流センター

多様なニーズに対応した生産体制

CORE排水システムでは、お客様のニーズに合わせた多種多様な商品群を用意しています。特に、耐火・防音・防振に対応したモエナインは、工場で一体成形して出荷しています。お客様より注文を受けてから、早く、確実に提供できるよう、フレキシブルな生産体制を整えて対応致します。

全数漏れ検査を実施

CORE通気継手は鋳物でできています。製造過程で発生する鋳造欠陥を見逃さないために、全数漏れ検査を行ったうえで出荷しています。
現在、施工現場では配管後に満空試験が行われていることを受けて、一部製品は満空式の検査を実施しています。

Kojima 物流センター概要

敷地面積	8,000m²
床面積	4,300m²

保管、配送管理

供給先より納入された部品は、厳しい目を通して検品し、管理された状態で保管します。
また、組立・梱包された製品は運送便によって、全国各地へ約束された期日にお届け致します。

SDGs への取り組み

Kojima SDGsアクション

私たち小島製作所は、生活インフラの一つである建築設備用排水器材の製造販売を通じて広く社会の水回り環境をサポートしながら、持続可能な社会の実現に貢献します。

健康的で安心、安全な生活をサポート

私たちが製造販売する建築設備用排水器材は、有害な下水ガスや伝染病の媒体となる衛生害虫、ウィルス等から人々を守り、健康的で安心、安全な生活をサポートしています。

循環型社会の実現や代替技術の開発

排水性能実験では大量の水を使います。それらの水は循環装置を使って再利用しています。また、水の代わりに空気を使う漏れ検査機も開発し、さらなる環境負荷の低減を進めています。

生産終了品や排水管更新時に出る古い鋳物製品は廃棄せず、炉で溶かして新たな製品へと生まれ変わることで、循環型社会の実現に取り組んでいます。

SDGs とは

SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）は、「誰一人取り残さない（leave no one behind）」持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標です。2015 年の国連サミットにおいて全ての加盟国が合意した「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」の中で掲げられました。2030 年を達成年限とし、17 のゴールと 169 のターゲットから構成されています。

※外務省 SDGs ホームページより

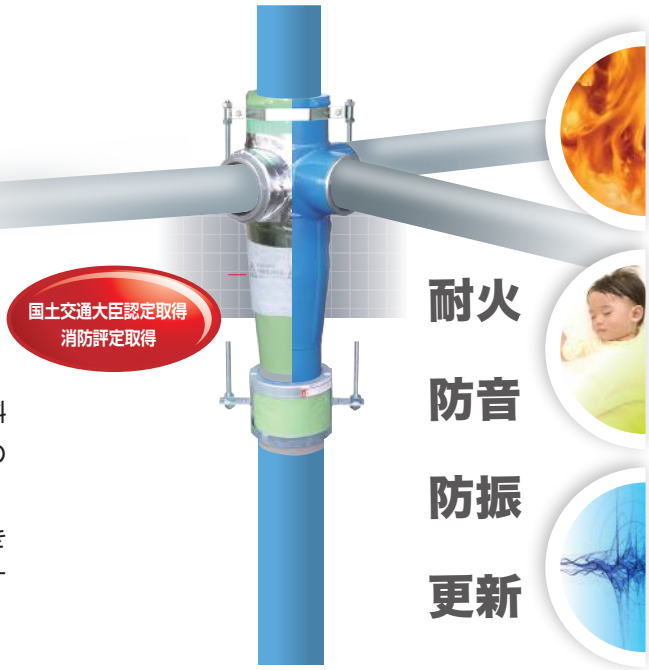
SDGs への取り組み

4 質の高い教育をみんなに
5 ジェンダー平等を実現しよう
8 働きがいも経済成長も

ワークライフバランスを推進、働きやすい職場環境を整備

樹脂製排水システムービニコアやDAT継手の生産を担っている女性従業員の労働環境を整備し、女性が活躍する社会の実現に取り組んでいます。事業の生産性を高めつつ、福利厚生や教育・研修制度の充実を図り、従事者がいきいきと働きがいのある会社であり続けます。

9 産業と技術革新の基盤をつくろう
11 住み続けられるまちづくりを



住み続けられる街づくり、災害に強い住まいづくり

製品製造において触手による全数検査の実施や劣化しにくい原材料を使用することで、安全・高品質を追求するとともに排水システムの長寿命化を図り、長く住み続けられる街づくりに貢献しています。
集合住宅での火災時に炎や煙、熱を上階に漏らさない延焼防止付き排水システム-モエナインの普及を進め、全ての人が安全で暮らしやすく、災害に強い住まいづくりを推進しています。

9 産業と技術革新の基盤をつくろう
17 パートナーシップで目標を達成しよう

持続可能な社会の実現に応えるユニークな製品開発

業種・業態の垣根を越えて、得意分野が異なるメーカーとアライアンスを組み、それぞれのノウハウを活用して共同で新製品の研究、開発、販売支援を行っています。

水とくらしのグッド・パートナー
株式会社小島製作所

E-mail kojima@kojima-core.co.jp
https://www.kojima-core.co.jp

本　社　〒454-0027　名古屋市中川区広川町5丁目1番地
TEL.052-361-6551(代)　FAX.052-361-6556

首都圏コアセンター MCC　〒103-0001　東京都中央区日本橋小伝馬町7-17朝日ビル4階
TEL.03-5652-6356　FAX.03-5652-6355
E-mail mcc@kojima-core.co.jp

Kojima物流センター　〒511-0923　三重県桑名市桑部1056-5
TEL.0594-27-6771　FAX.0594-27-6772